

令和7年度 板橋駅西口周辺地区まちづくり説明会 実施結果概要

■開催概要

日 時：【1日目】令和7年8月29日（金）19:00～20:30

【2日目】令和7年8月30日（土）10:00～11:30

会 場：ハイレブプラザいたばし2階ホール

主 催：板橋区 まちづくり推進室 地区整備課

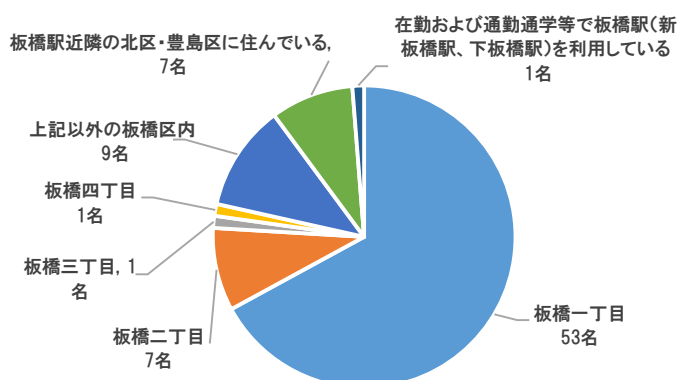
事 業 者：【板橋駅西口地区】板橋駅西口地区再開発組合、都市空間研究所、RIA

【板橋駅板橋口地区】野村不動産、JR東日本、板橋区ブランド戦略担当課

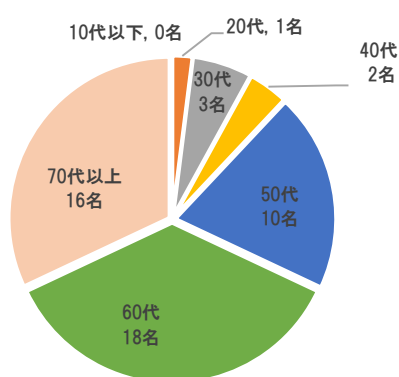
■参加人数：【1日目】50名、【2日目】48名 計98名

■参加者の属性

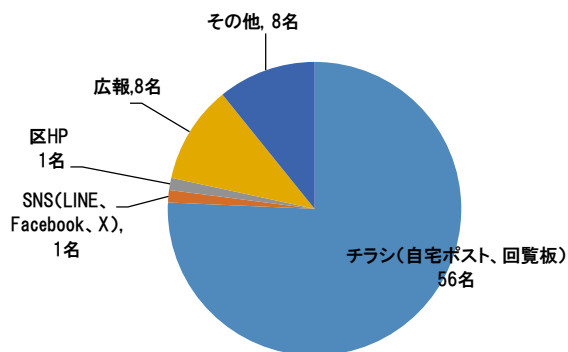
1. お住まいの地域



2. ご年齢



3. 説明会の開催案内は、何をご覧になりましたか？



■説明概要

- ① 板橋駅西口周辺のまちづくり
まちの歴史、過年度の取り組み、えんのもりスクールについて
- ② 『板橋駅西口地区』市街地再開発事業
今後のスケジュール等について
- ③ 『板橋駅板橋口地区』市街地再開発事業
今後のスケジュール等について
- ④ 駅前広場の再整備
現状の課題や再整備の目的、整備計画（進捗版）公表について

※詳細につきましては、区HPにある動画をご覧ください。

《主な質疑応答》 ※質疑要旨については、簡潔にするため抜粋して掲載しております。

②『板橋駅西口地区』市街地再開発事業 ③『板橋駅板橋口地区』市街地再開発事業

Q: 2棟のタワーマンションが建つことでの、風の影響や電波障害の影響は。

A: 風環境、電波障害影響は、どちらも適切に施設設計図をもとに検証し、対策をしている。
風は、2棟が建つ条件でシミュレーションしており、大きな影響がないことは確認している。

Q: 西口地区再開発の解体工事においてアスベスト調査はしているか。工事期間は。

A: すべて調査しており、アスベストが使われていなかった建物は、2棟のみである。その他の建物は、含有のレベルに合わせて、封じ込めや飛散防止などの対策を講じながら、工事を進めている。

④駅前広場の再整備

Q: 旧中山道とロータリーの接続がなくなる。周辺道路の交通量のシミュレーションはしているか。

A: 交通量調査・シミュレーションを実施しており、周辺道路に大きな渋滞が発生することは、想定していない。シミュレーションの結果は、今後情報として開示していく予定。
再開発ビルの地下に荷捌き用の駐車場所を設け、周辺道路での停車がないよう計画している。
交通量調査のデータについては、区 HP で公表されている資料を確認していただきたい。

Q: 谷端川沿いの道路は狭く歩行者が多いので、安全面が憂慮される。

A: 周辺道路の安全確保は重要であり、駅前広場整備だけでなく、周辺道路の対策も検討していく。
今後も適切に説明の機会を設けていく。

Q: 旧中山道から山手通りに抜ける唯一の道をつぶしてはならない。別の案を出せないのか。

A: 案を変えるべきとのご意見については、なぜ案を変えるべきとおっしゃっているか、その背景をしっかりと理解することが必要だと考えている。

例えば、踏切が長時間遮断されたときの車の迂回路については、周辺施設や関係機関との協議・調整も必要だが、踏切の手前で緊急的には迂回や転回ができるスペースを確保するという対策を示していきたいと考えている。

救急活動や消火活動。駅や高層ビル等での救助活動・消火活動に影響がないかも、重要な視点であり、高層ビルの消火方法などを含めて、所轄消防署にも確認した結果、活動に支障がないことは確認できている。

ホームページにもQAを掲載しており、まだ回答しきれてない部分もあるが、一つ一つ丁寧に対応策を、お示していく。

Q:安全上の課題があるというが、事故は起きていない。過去の事故の統計データを開示すべき。

A:現状、事故が起きてないというご意見もあるところだが、現在の状況は不安全であり、お示した4つの課題は、解決しなければならない課題であると、区は認識している。

人と車の空間が分離されることで、子ども、高齢者、障がい者など、誰もが安全に通行できる空間となる。警視庁とも協議しており、より安全になり望ましいとのご意見をいただいている。

Q:駅前広場から旧中山道に左折するとき、対向車線にはみ出すのは、おかしいのではないかと。また、グリーンロードはとても狭く、樹木の枝が張り出していて、バスのすれ違いは困難。

A:駅前広場から旧中山道に左折するときには、バスのような大型車両が膨らんでしまうというような状況は、区も現地で確認している。

信号のある交差点であれば、停止線があるので、対向車線まで大きく回っても問題ないが、信号のない道路で対向車線まではみ出すのは課題と認識している。

バス事業者と協議した結果、安全上の課題があるとの意見であった。

グリーンロードは旧中山道と同じ幅員(12メートル)の道路であり、大型車両を含む車両の相互通行は可能であり、バス事業者からも支障はないと伺っている。

グリーンロード等の駐車車両が多いというご意見もあるが、警察とも協議しながら、対策をとっていくことが必要であると認識している。

Q:番屋ではなく、交番は設置できないのか。交番がなければ、色々な人が集まり夜間の治安が悪化する。

A:交番の設置について警視庁と協議しているが、現状、設置の計画はないと聞いている。

対案として、夜間に番屋に人が配置できないか、警察官が立ち寄れる場所にならないか、といったご意見もいただいている。運用方法については、しっかりと検討していく。

Q:タクシー乗り場はロータリー内に収めるべきではないか。また、いないときに呼べるような仕組みにはできないか。

A:タクシーの待機場の台数については調査のうえで計画しているが、ロータリー内に配置ができないかというご意見については、引き続き検討を進めていく。

タクシーが停まっていないときに呼べる対策があるかどうかは、タクシー協会等にもヒアリングするなどしていきたい。

Q:埼京線の線路沿いの駐輪場がなくなることだが、ほかの場所に確保されるのか。

A:西口地区再開発ビル内に、一般利用も可能な駐輪場を設置し、必要台数を確保する計画である。

Q:喫煙所を撤去することだが、周囲でのポイ捨てが増えるのが心配。

A:アンケートを実施すると、多くの方から喫煙所は撤去してほしいというご意見がある一方で、その代わりにマナーが悪くなるという懸念の声も聞いている。

関係部署と連携し、代替の施設については、撤去する前から検討していく。また、周辺地域で路上喫煙やポイ捨てが増加しないよう、パトロールなどにより注意喚起を図っていく。

Q:番屋に併設されるトイレの規模は。

A:現在の公衆トイレの利用状況を調査し、適正な規模を計画していく。

その他（意見）

○ガード下の歩行者用トンネルについて

汚いので、明るく綺麗に整備してほしい。

○埼京線のキャパシティについて

2棟の再開発事業により、人が増える。昨年度の記録では、駅舎の物理的な設備は整っていますが、ラッシュアワーがすごく混んで、乗り切れないこともある。鉄道の運行計画について、区の方からもぜひアプローチしていただきたい。

➡多くのご意見をいただいているため、令和6年度に JR へヒアリングした際の回答を記載します。

【質問概要】

2棟のタワーマンションが建設されることによる駅機能への影響は無いのか。

【回答】

※JR東日本にヒアリングを行ったのでその結果をお伝えいたします。

①再開発事業後の居住者増加による駅機能の影響について

・事故などでダイヤの乱れがあった場合に、通常よりも利用者が集中していることは認識している。

・JR板橋駅は近年駅舎の改良を行い、階段の改修、エレベータ及びエスカレーターの設置を行った。

・現在の階段や通路の幅員とエスカレーターによる乗降客の処理能力を考慮すると、再開発事業による居住者の増加による影響はないと考えている。

②JR板橋駅の安全性向上のための改良工事の予定について

・さらなる安全性の向上をめざし2031年までにホームドアを設置する予定である。

○民泊対策について

投資用に購入されて民泊の問題が出るのではないかと懸念する。

この度は、連日厳しい暑さが続くなか、説明会にご参加いただき誠にありがとうございました。

引き続き地域の皆様の声に耳を傾け、できる限りの対応を検討して参ります。

何卒ご理解賜りますよう、今後ともよろしくお願いいたします。



板橋駅西口駅前広場の整備計画案に関する Q&A は

左の二次元コードから閲覧することができます。

【お問い合わせ先】

板橋区 まちづくり推進室 地区整備課（板橋駅周辺係）

住 所：〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号

T E L：03（3579）2556 ／ F A X：03（3579）2129

Eメール：m-imachi@city.itabashi.tokyo.jp